

世と教界を見る目を養う(22)

=バビロン vs. 神の神殿=

聖書:エゼキエル40-44章

(1)バビロンからの回復:神殿の幻の発端(40:1-3);第一の月(=ニサン(3-4月))の10日;過ぎ越しの小羊が備えられる日(BC.573の4月19日)

(2)主の手により、神の幻により、高い山に下ろされる(1-3節)

(3)青銅(=神の裁き)の輝きを持ち、麻縄(=聖徒の義しい行い;黙示録19:8)と計り竿(=神の基準)を持つ、門の前に立つ一人の人(キリスト?)

(4)神殿のサイズの基準:キュビット=普通のキュビット(=45センチ)+1トファ(1/6キュビット)
→世の基準ではなく、神聖な基準による;1/6キュビットは人の分を表すか?

(5)祭司の特権:聖卓の前で仕えることができる(41:22;44:16;1ペテロ2:5,9)、諸捧げ物を食
べることができる(44:29;ヘブル10:1;ヨハネ6:50-56)、最良の物はすべて祭司のもの(30節)

(6)祭司の嗣業:地の物はなく、主ご自身が嗣業・財産(44:28)、死んだものを食べてはならない(44:31)

(7)神殿の本質:神の栄光の臨在(43:2-7)→主の栄光は東から;神はイスラエルと共に住む
(cf.黙示録21:3)